

事務事業評価シート

H27(標準事業)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	消防本部
	09005-1	活動費	室名	消防総務室
	基本施策の大綱	03:健康で自然の恵み豊かな環境の創造	財	会計 一般会計
	基本施策	05:防災力の強化	務	款 消防費
	施策の方向	05:消防力の充実・強化	科	項 消防費
戦略プロジェクト		目	目 非常備消防費	

② 目的・概要	対象	消防団員
	目的	地域の安心・安全を確保するため、消防団が災害出動等の活動を行うことで、地域防災力の強化を図ることを目的とする。
概要	消防団員の災害出動等に要する装備の配備、費用弁償、報酬及び退職報償費等	

		27年度	28年度
①	名称	災害等出動のべ人員数	
	補足	計画値 実績値 単位	2,281 人
②	名称		
	補足	計画値 実績値 単位	
③	名称		
	補足	計画値 実績値 単位	
④	名称		
	補足	計画値 実績値 単位	

年度計画				年度実績				
④ 事業の計画・実績				消防団出動実績				
				<ul style="list-style-type: none"> ・水・火災 8回 のべ 80人 ・警戒・捜索 11回 のべ 267人 ・訓練 20回 のべ 1,167人 ・広報・指導 47回 のべ 598人 ・研修・会議 27回 のべ 169人 				
				ほか、必要な装備の配備等を行う。				
	事業費	計画額	予算額	決算額	人件費	総人件費 ①	379	
	国庫支出金				一般職員人件費 ②	379	平均給与額×③	
	県支出金				所要人員 ③	0.05		
	地方債				臨時職員人件費 ④			
	その他		6,073	6,073	受益者負担額 ⑤			
	一般財源		44,575	43,171	受益者負担率	0.0%	⑤ / ⑥	
	再掲	翌年度への繰越額			総人件費 ①	379		
	前年度からの繰越額			総コスト ⑥	49,623			

⑤ 事業の評価	【事業の成果】	消防団の活動は、火災出動、大雨警戒出動等のほか、市民への救急法指導、防火広報の実施などであり、これらの活動により地域の安全・安心の確保に貢献したほか、住宅用火災警報器設置済シール交付事業に協力している。また、「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の施行等により、これまで以上の消防団の充実強化が求められていることから、消防団の安全装備等を「消防団員の装備基準」に則したものに整備・更新し、活動の強化を進めた。	総合判定 B まずまず進んだ
	【反省点・課題】	「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」をはじめ、当該法律の制定に伴う消防団関連法令の改正への対応と、更なる消防団の充実強化について検討の必要がある。	
	【改善の方向性】	「消防団を中核とした地域防災力の充実強化に関する法律」の趣旨を十分理解したうえで、本市の実情に応じた消防団の充実強化を進める。	
事業目的の妥当性: 適切		有効性: 適切	最終評価確認者: 消防総務室長 宮崎 郁太郎